

聖書翻訳比較の散歩道

“信仰”という訳語

Hab 2 : 4

BHS-LXX-NT-訳語統一問題

<道の光>

「信仰」ということばは、キリスト教にとって大切なことばの一つですね。J-ばいぶるの日本語検索機能で、旧約聖書での「信仰」という漢字が利用される箇所を、調べると、口語訳、新改訳、新共同訳で、以下の画像の結果が出ます。これを見ると、唯一、Hab 2 : 4 (使徒パウロが、Rom 1 : 17「義人は信仰によって生きる。」、新改訳、で引用する。ルターの宗教改革にも貢献した聖句)だけが、三つの旧約聖書の翻訳で「信仰」ということばが利用されていてということが、分かります。また、その一方で、三つの旧約聖書の翻訳では、「信仰」ということばを利用する箇所に違いがあるのが分かります。皆さんと旧約聖書における「信仰」ということばの訳出の問題という藪の中を散歩して見ましょう。

聖書検索

検索
検索

Or検索

完全一致

検索聖書(コピー対象聖書)

口語訳 NKJV
 新改訳 TEV
 新共同 HEB
 NIV LIB

旧約
 新約
 全書巻
 書巻別

検索 4節 And検索

| | |
|-----------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> 詩 | 119: 158 |
| <input type="checkbox"/> イザ | 9: 17 |
| <input type="checkbox"/> イザ | 26: 2 |
| <input type="checkbox"/> ハバ | 2: 4 |

聖書検索

検索
検索

Or検索

完全一致

検索聖書(コピー対象聖書)

口語訳 NKJV
 新改訳 TEV
 新共同 HEB
 NIV LIB

旧約
 新約
 全書巻
 書巻別

検索 2節 And検索

| | |
|-----------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> ヨブ | 15: 4 |
| <input type="checkbox"/> ハバ | 2: 4 |

聖書検索

検索
検索

Or検索

完全一致

検索聖書(コピー対象聖書)

口語訳 NKJV
 新改訳 TEV
 新共同 HEB
 NIV LIB

旧約
 新約
 全書巻
 書巻別

検索 7節 And検索

| | |
|-----------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> 詩 | 12: 2 |
| <input type="checkbox"/> 詩 | 31: 24 |
| <input type="checkbox"/> 詩 | 37: 3 |
| <input type="checkbox"/> 詩 | 119: 30 |
| <input type="checkbox"/> 詩 | 119: 90 |
| <input type="checkbox"/> イザ | 26: 2 |
| <input type="checkbox"/> ハバ | 2: 4 |

まず、初めに、Rom 1:17 の翻訳の違いをおさえておきましょう。

以下、JB2 からコピーした情報で創った翻訳比較ノートです。

JB2 Ver 2.0 (日本コンピュータ聖書研究会)

Rom 1章 17節

[口語訳] 神の義は、その福音の中に啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。これは、「信仰による義人は生きる」と書いてあるとおりである。

[新改訳] なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる。」と書いてあるとおりです。

[新共同訳] 福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

[NKJV] For in it the righteousness of God is revealed from faith to faith; as it is written, "The just shall live by faith."

[TEV] For the gospel reveals how God puts people right with himself: it is through faith from beginning to end. As the scripture says, "The person who is put right with God through faith shall live."

δικαιοσύνη γὰρ θεοῦ ἐν αὐτῷ ἀποκαλύπτεται ἐκ πίστεως εἰς πίστιν, καθὼς γέγραπται, Ὁ δὲ δίκαιος ἐκ πίστεως ζήσεται.

日本の聖書翻訳をリードしてきている、(財)日本聖書協会の翻訳の口語訳では、「義人」とあった箇所を、「正しい人」と新共同訳から翻訳を違えています。以下、画像は、JB1で、NTの「義人」を検索した結果です。



別の聖書翻訳の散歩道で「義人はどこに？」(仮称)を書くつもりですが、ここでは、その理由は、プロテスタント

の「義認」とカトリックの「義化」の平行線の教義上の見解の相違になる、とだけ書き「信仰」に戻りましょう。

(『新共同訳新約聖書註解』堀田康雄「ガラテア信徒への手紙」p.171上段に、その答えがあるようです。)

このロマ書のハバクク書の引用問題は、現在、様々な旧約聖書の翻訳や写本の研究を通して、行われています。

以下は、CD-ROM「WBC」をキャプチャーしたものです。

| | | |
|---|-------------------------------------|--|
| The quotation from Hab 2:4 is known to us in basically four different versions, including Heb 10:38 : | | |
| MT | יָחִיד בְּאֵמוּנָתוֹ יֵחִי | the righteous (man) by his faith(fulness) shall live |
| LXX | ὁ δὲ δίκαιος ἐκ πίστεώς μου ζήσεται | the righteous out of my faith(fulness) shall live |
| Paul | ὁ δὲ δίκαιος ἐκ πίστεως ζήσεται | the righteous out of faith/faithfulness(?) shall live |
| Heb | ὁ δὲ δίκαιός μου ἐκ πίστεως ζήσεται | my righteous one out of faith/faithfulness(?) shall live |

The **MT** form is read also by the Habakkuk commentary in the **DSS**, where, although the quotation itself has been obliterated at the foot of column 7, the interpretation of it at the beginning of the next column makes the reading clear: "The interpretation of it concerns the observers of the law in the house of Judah, whom God shall deliver from the house of judgment because of their struggle and their fidelity to the Teacher of Righteousness" (1QpHab 8.1-3, Fitzmyer). Other Greek versions of Habakkuk also follow the **MT** (Fitzmyer, 240-41). Paul's version appears also in **Gal 3:11**.

次に、Hab2:4 のBHSテキストをJB3で調べてみましょう。以下、JB3からのコピー情報から創った翻訳検討メモです。

旧約聖書翻訳比較ノート Hab 2: 4

hyxyl AtnlWmaB, qyDlcw AB Avpn: hr'vy"-alo h l P.[u h mhi

(彼は)生きる 信仰により 義人(形容詞男単) 魂の 正しくない者

動詞Qal未3男単 普通名詞女単合成形接尾辞3男単

[口語訳]

見よ、その魂の正しくない者は衰える。しかし義人はその信仰によって生きる。

[新改訳]

見よ。心のまっすぐでない者は心高ぶる。しかし、正しい人はその信仰によって生きる。

[新共同]

見よ、高慢な者を。彼の心は正しくありえない。しかし、神に従う人は信仰によって生きる。」

[NIV]

2:4 "See, he is puffed up; / his desires are not upright - - / but the righteous will live by his faith {[4] Or / <faithfulness>}--

先ほど、新約では、口語訳「義人」、新改訳「義人」、新共同訳「正しい人」ということを書きましたが、旧約では、口語訳「義人」(新約との訳語統一あり)、新改訳「正しい人」(新約との訳語統一なし)、新共同訳「神に従うひと」(神は、原語になく、意識する、新約との訳語統一なし)、となっていることが分かります。ヘブル語のテキストを見ると、似たようなことは、「まっすぐでない」と「義人、正しい人、神に従う人」は、違うことばを利用した平行法で表現されていることが分かります。

これを、JLXXで調べると、以下のようになっています。

<品詞色分け>

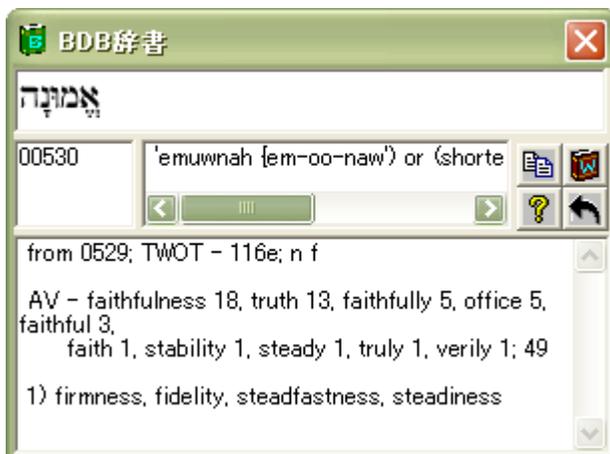
ean upostei,htai ouk eudokei/h' yuch, mou en autw/
o` de. dikaioj ek pistewj mou zhsetai

<LXE>

If he should draw back, my soul has no pleasure in him:
but the just shall live by my faith.

BHSとLXXでは、二つの大きな違いがあることが分かります。ひとつは、BHSの平行法は、LXXでは、直訳せず、「もし、彼が元に戻るなら、わたしの心は、彼を喜ばない」と意識しているようです。二つめは、一般的な英訳、his faith が、my faith と「義人は、わたしへの(神への)信仰によって生きる」と、信仰する対象を明確にしている点です。

LXXが、pistewj、と訳すヘブル語のhmlma/ は、JB3搭載のBDB辞書から49回登場し、いくつかの英語に翻訳されることが分かります。



最後に、は、新共同訳旧約聖書(「信仰」を7節で訳語として利用する)では、どのように翻訳を別けているのかを調べてみましょう。

以下は、聖書翻訳の訳語統一を測るために、本会が、開発した「J-聖書翻訳研究Ver2.0」で、の訳語リス

トを作成した結果です。



hnWma/

| | | |
|--------------|--------------------------------------|---|
| 1> Exo 17:12 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | モーセの手が重くなったので、アロンとフルは石を持って来てモーセの下に置いた。モーセはその上に座り、アロンとフルはモーセの両側に立って、彼の手を支えた。その手は、日の沈むまで、 しっかりと 上げられていた。 |
| 2> Deu 32:4 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主は岩、その御業は完全で / その道はことごとく正しい。 真実 の神で偽りなく / 正しくてまっすぐな方。 |
| 3> 1Sa 26:23 | [@ncfscX3msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男単 | 主は、おのおのに、その正しい行いと 忠実 さに従って報いてくださいます。今日、主はわたしの手にあなたを渡されましたが、主が油を注がれた方に手をかけることをわたしは望みませんでした。 |
| 4> 2Ki 12:16 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 工事担当者に与えるように献金を渡された人々は 忠実 に仕事をする者であったので、会計監査を受けることはなかった。 |
| 5> 2Ki 22:7 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | ただし、彼らは 忠実 に仕事をしているから、彼らに渡した金の監査は必要ではない。」 |
| 6> 1Ch 9:22 | [@ncfscX3mpN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男複 | えり抜かれて戸口に立った門衛は皆で二百十二人、それぞれその村で登録されている。ダビデと先見者サムエルが彼らにこの仕事を任せた。 |
| 7> 1Ch 9:26 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 四人の 門衛長 はいつも任務に就いていた。神殿の祭司室と宝物庫の責任を負ったのはレビ人であった。 |
| 8> 1Ch 9:31 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | コラー族のシャルムの長男、レビ人の マティヤ は、平らな菓子の製造を任せられた。 |
| 9> 2Ch 19:9 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | ヨシャファトは彼らにこう命じた。「主を畏れ敬い、 忠実 に、全き心をもって務めを果たせ。 |

| | | |
|---------------|--------------------------------------|---|
| 10> 2Ch 31:12 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 彼らは忠実に献納物、十分の一の献げ物、および聖別された物をそこに運び入れた。レビ人の指導者コナンヤがその責任を負い、彼の兄弟シムイが補佐役となり、 |
| 11> 2Ch 31:15 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 彼の指揮下でエデン、ミンヤミン、イエシュア、シエマヤ、アマルヤ、シェカンヤが、祭司の町でその兄弟たちに組ごとに、老若の別なく、 忠実 に分配した。 |
| 12> 2Ch 31:18 | [@ncfscX3mpN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男複 | 彼らの登録は、そのすべての幼児、妻、息子、娘、すなわち全会衆を含んでいた。彼らも聖別された物を 忠実 に取り扱うために聖別されていたからである。 |
| 13> 2Ch 34:12 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | この人々は 忠実 に仕事をした。彼らの上にはレビ人メラリー族のヤハトとオバドヤ、ケハト一族のゼカルヤとメシュラムが監督として任命された。レビ人の楽器の達人は皆、 |
| 14> Psa 33:4 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主の御言葉は正しく / 御業はすべて 真実 。 |
| 15> Psa 36:6 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 主よ、あなたの慈しみは天に / あなたの 真実 は大空に満ちている。 |
| 16> Psa 37:3 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、 信仰 を糧とせよ。 |
| 17> Psa 40:11 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 恵みの御業を心に秘めておくことなく / 大いなる集会であなたの 真実 と救いを語り / 慈しみとまことを隠さずに語りました。 |
| 18> Psa 88:12 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 墓の中であなたの慈しみが / 滅びの国であなたの まこと が / 語られたりするでしょうか。 |
| 19> Psa 89:2 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 主の慈しみをとこしえにわたしは歌います。わたしの口は代々に / あなたの まこと を告げ知らせます。 |
| 20> Psa 89:3 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | わたしは申します。「天にはとこしえに慈しみが備えられ / あなたの まこと がそこに立てられますように。」 |
| 21> Psa 89:6 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 主よ、天があなたの驚くべき力を告白し / 聖なるものがその集会で / あなたの まこと を告白しますように。 |
| 22> Psa 89:9 | [@ncfscX2msN] | 万軍の神、主よ / 誰があなたのような威力を持つでしょう。主よ、あ |

| | | |
|-----------------|--------------------------------------|--|
| | 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | あなたの 真実 は / あなたを取り囲んでいます。 |
| 23> Psa 89:25 | [@ncfscX1csN] 普通名詞女単合成形 接尾辞1両単 | わたしの 真実 と慈しみは彼と共にあり / わたしの名によって彼の角は高く上がる。 |
| 24> Psa 89:34 | [@ncfscX1csN] 普通名詞女単合成形 接尾辞1両単 | それでもなお、わたしは慈しみを彼から取り去らず / わたしの 真実 をむなくすることはない。 |
| 25> Psa 89:50 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 主よ、 真実 をもってダビデに誓われた / あなたの始めからの慈しみは / どこに行ってしまったのでしょうか。 |
| 26> Psa 92:3 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 朝ごとに、あなたの慈しみを / 夜ごとに、あなたの まこと を述べ伝えることは |
| 27> Psa 96:13 | [@ncfscX3msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男単 | 主を迎えて。主は来られる、地を裁くために来られる。主は世界を正しく裁き / 真実 をもって諸国の民を裁かれる。 |
| 28> Psa 98:3 | [@ncfscX3msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男単 | イスラエルの家に対する / 慈しみと まこと を御心に留められた。地の果てまですべての人は / わたしたちの神の救いの御業を見た。 |
| 29> Psa 100:5 | [@ncfscX3msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男単 | 主は恵み深く、慈しみはとこしえに / 主の 真実 は代々に及ぶ。 |
| 30> Psa 119:30 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 信仰 の道をわたしは選び取りました / あなたの裁きにかなうものとなりますように。 |
| 31> Psa 119:75 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主よ、あなたの裁きが正しいことを / わたしは知っています。わたしを苦しめられたのは / あなたの まこと のゆえです。 |
| 32> Psa 119:86 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | あなたの戒めはすべて 確か です。人々は偽りをもってわたしを迫害します。わたしをお助けください。 |
| 33> Psa 119:90 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | あなたへの 信仰 は代々に続き / あなたが固く立てられた地は堪えます。 |
| 34> Psa 119:138 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | あなたは定めを与えられました。それは まこと に正しく確かな定めです。 |
| 35> Psa 143:1 | [@ncfscX2msN] | 【賛歌、ダビデの詩。】主よ、わたしの祈りをお聞きください。嘆き祈る |

| | | |
|---------------|--------------------------------------|--|
| | 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | 声に耳を傾けてください。あなたの まこと 、恵みの御業によって／わたしに答えてください。 |
| 36> Pro 12:17 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 忠実 に発言する人は正しいことを述べ／うそをつく証人は裏切る。 |
| 37> Pro 12:22 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | うそをつく唇を主はいとわれる。 忠実 を尽くす人を主は喜び迎えられる。 |
| 38> Pro 28:20 | [@ncfpN] 普通名詞女複 | 忠実 な人は多くの祝福を受ける。富むことにはやる者は罰せられずには済まない。 |
| 39> Isa 11:5 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 正義をその腰の帯とし／ 真実 をその身に帯びる。 |
| 40> Isa 25:1 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主よ、あなたはわたしの神／わたしはあなたをあがめ／御名に感謝をささげます。あなたは驚くべき計画を成就された／遠い昔からの揺るぎない 真実 をもって。 |
| 41> Isa 33:6 | [@ncfscN] 普通名詞女単合成形 | 主はあなたの時を 堅く 支えられる。知恵と知識は救いを豊かに与える。主を畏れることは宝である。 |
| 42> Isa 59:4 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 正しい訴えをする者はなく／ 真実 をもって弁護する者もない。むなししいことを頼みとし、偽って語り／労苦をはらみ、災いを産む。 |
| 43> Jer 5:1 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | エルサレムの通りを巡り／よく見て、悟るがよい。広場で尋ねてみよ、ひとりでもいるか／正義を行い、 真実 を求める者が。いれば、わたしはエルサレムを赦そう。 |
| 44> Jer 5:3 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 主よ、御目は／ 真実 を求めておられるではありませんか。彼らを打たれても、彼らは痛みを覚えず／彼らを打ちのめされても／彼らは懲らしめを受け入れず／その顔を岩よりも固くして／立ち帰ることを拒みました。 |
| 45> Jer 7:28 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | それゆえあなたは彼らに言うがよい。「これは、その神、主の声に聞き従わず、懲らしめを受け入れず、その口から 真実 が失われ、断たれている民だ。」 |
| 46> Jer 9:2 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | 彼らは舌を弓のように引き絞り／ 真実 ではなく偽りをもってこの地にはびこる。彼らは悪から悪へと進み／わたしを知ろうとしない、と主は言われる。 |
| 47> Lam 3:23 | [@ncfscX2msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞2男単 | それは朝ごとに新たになる。「あなたの 真実 はそれほど深い。」 |
| 48> Hos 2:22 | [@ncfsN] 普通名詞女単 | わたしはあなたと まこと の契りを結ぶ。あなたは主を知るようになる。 |

| | | |
|-------------|--------------------------------------|--|
| 49> Hab 2:4 | [@ncfscX3msN] 普通名詞女単合成形 接尾辞3男単 | 見よ、高慢な者を。彼の心は正しくありえない。しかし、 神に従う人 は信仰によって生きる。」 |
|-------------|--------------------------------------|--|

この49箇所から、**hmlma**を「信仰」と新共同訳が訳す箇所、4つ並べると以下の様になります。

Psa 37:3 主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、**信仰を糧とせよ**。

Psa 119:30 **信仰の道**をわたしは選び取りました / あなたの裁きにかなうものとなりますように。

Psa 119:90 **あなたへの信仰**は代々に続き / あなたが固く立てられた地は堪えます。

Hab 2:4 見よ、高慢な者を。彼の心は正しくありえない。しかし、**神に従う人**は信仰によって生きる。」

以下は、その他、3箇所の翻訳比較をしたリストです。どの箇所も、新共同訳は、**!ma** を「信仰」と訳しています。

Psa 12: 2

[新共同] 主よ、お救いください。主の慈しみに生きる人は絶え / 人の子らの中から / **信仰のある人**は消え去りました。

[口語訳] 主よ、お助けください。神を敬う人は絶え、**忠信な者**は人の子らのなかから消えうせました。

[新改訳] 主よ。お救いください。聖徒はあとを絶ち、**誠実な人**は人の子らの中から消え去りました。

Psa 31: 24

[新共同] 主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。主は**信仰ある人**を守り / 傲慢な者には厳しく報いられる。

[口語訳] すべての聖徒よ、主を愛せよ。主は**真実な者**を守られるが、おごりふるまう者にはしたたかに報いられる。

[新改訳] すべて、主の聖徒たちよ。主を愛しまつれ。主は**誠実な者**を保たれるが、高ぶる者には、きびしく報いをされる。

Isa 26: 2

[口語訳] 門を開いて、**信仰を守る**正しい国民を入れよ。

[新改訳] 城門をあけて、誠実を守る正しい民をはいらせよ。

[新共同] 城門を開け / **神に従い、信仰を守る**民が入れるように。

このイザヤ書 26 : 2 (口語訳も「信仰」を使う) では、新共同訳のハバクク 2 : 4 と同じ、「正しい人」を「神に従う人」と、「義人」**qyDK'** を翻訳していることが分かります。

また、口語訳が、「不信仰」と訳していた、Psa 119: 158 (以下、比較リスト参照) は、原語

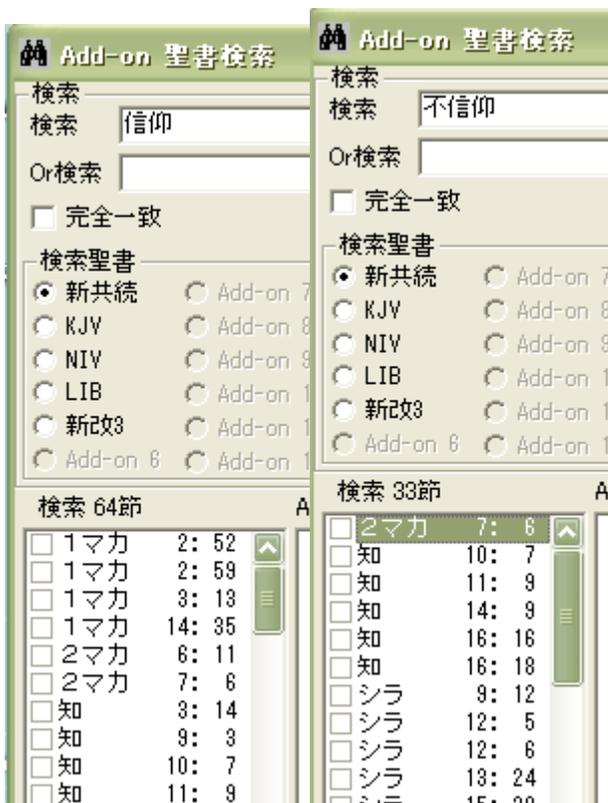
「**dgB**」の直訳として、新改訳と同じ意味のことばを新共同訳は、訳語にあてています。

[口語訳] 不**信**仰な者があなたのみ言葉を守らないので、わたしは彼らを見て、いとわしく思います。

[新改訳] 私は裏切る者どもを見て、彼らを忌みきらいました。彼らがあなたのみことばを守らないからです。

[新共同] 欺く者を見れば忌むべきものと思います。彼らはあなたの仰せを守りません。

それでは、何故、新共同訳旧約聖書では、「信仰」と翻訳される箇所が多くなったのでしょうか？J-ばいびるアドラの続編で「信仰」「不信仰」を検索してみました。その結果が、以下、画像です。



以下、「信仰」「信仰深い」で続編を検索した結果を紹介します。

検索 信仰 | 信仰深い [新共統] 全書巻 ヒット数 検索 20 Or 15

1 マカ 2: 52

アブラハムは試練を通して信仰を証しし、それが彼の義と見なされたのではなかったか。

1 マカ 2: 59

ハナンヤ、アザルヤ、ミシャエルは信仰のゆえに炎の中から救い出された。

1 マカ 3: 13

シリア軍の司令官セロンは、ユダが信仰を共にして戦いに臨もうとする人々を集めて軍隊を編成したことを

知り、

1 マカ 14: 35

民は、シモンの信仰を目の当たりにし、彼の念願した民の栄光が実現したのを見て、シモンを彼らの指導者、大祭司に立てた。それは、彼がこれらすべてのことを成し遂げ、民のために正義と信仰を守り、あらゆる手を尽くして民を高めようとしたからである。

知 3: 14

子種のない男でも、悪に手を染めず、/主に対して恨みを抱かぬ者は幸いである。その信仰のゆえに特別な恵みを受け、/主の神殿で荣誉ある役職に就く。

シラ 11: 17

主の賜物は、信仰深い人と共にあり、/主の御心は、常に彼らを成功に導いてくださる。

シラ 11: 22

主の祝福こそ、信仰深い人の受ける報いなのだ。主は、幸せの花を、速やかに咲かせてくださる。

シラ 12: 2

信仰深い人に善い業をなせ。そうすれば報いがある。たとえ彼から受けなくても、/いと高き方が報いてくださる。

シラ 12: 4

信仰深い人に施せ。だが、罪人には援助するな。

シラ 13: 17

狼と小羊とがどうして共存できようか。罪人と信仰深い人もこれと同じである。

シラ 16: 13

罪人は、略奪した物を抱えて/逃げおおせることはできない。主は、信仰深い人にいつまでも忍耐を/強いることはなさない。

シラ 25: 12

〔主を畏れることは主を愛することの初め、/信仰は、主に依り頼むことの初めである。〕

シラ 26: 23

律法に背く者には、不信仰な妻が与えられ、/主を畏れ敬う者には、信仰深い妻が与えられる。

シラ 27: 11

信仰深い人の話には、常に知恵がある。愚か者は、月の形のように変わる。

シラ 27: 29

信仰深い人の苦境を喜ぶ者は畏にかかり、/死ぬ前に苦悩にさいなまれるであろう。

シラ 28: 22

舌は信仰深い人には力を振るえず、/その炎も彼らを焼くことがない。

シラ 33: 14

善が悪と相対し、/命が死と相対しているように、/罪人は信仰深い人と相対している。

シラ 37: 12

むしろ、掟を守っているとお前が考える/信仰深い人とつきあえ。彼はお前と気持を一つにし、/お前が失敗したとき、思いやりを示してくれる。

シラ 39: 27

これらすべては、信仰深い人には良いもの、/罪人たちには悪いものとなる。

シラ 43: 33

主は万物を創造し、/信仰深い人に知恵を与えられた。

シラ 49: 10

十二人の預言者の骨が、/その墓から再び花を咲かせるように。彼らはヤコブの民を慰め、/希望にあふれた信仰をもって救ったのだから。

シラ 50: 29

これを行えば、すべてに対して力を得る。主を畏れることこそ、/彼が歩んでいる道だからである。〔主は信仰深い人々に知恵を与えられた。主はとこしえにほめたたえられますように。アーメン、アーメン。〕

エズ・ラ 5: 1

「では、しるしについて語ろう。見よ、その日が来て、地上に住む人々は大いなる恐怖に捕らえられ、真理の道は隠され、国土は信仰の不毛の地となるだろう。

エズ・ラ 6: 5

今の年月が測られる以前、そして、今罪を犯している者たちのはかりごとがまだ退けられず、信仰の宝を積む者たちが印を受ける以前に、

エズ・ラ 6: 28

そして信仰が花開き、腐敗は克服され、長い間実らなかった真理が明らかになるだろう。」

エズ・ラ 7: 34

そこには裁きあるのみである。真理は立ち、信仰は力を得る。

エズ・ラ 7: 94

第三段階では、生前、信仰をもって受け取った律法を彼らが守ったという造り主の証言が承認されるのを見る。

エズ・ラ 8: 35

実際には、生まれてきた人の中で不敬虔なふるまいをしなかった者は一人もいません。信仰を告白する人の中にさえ、罪を犯さなかった人はいません。

エズ・ラ 9: 7

そのときには、救われた者、自分の業または誠実な信仰によって怒りから逃れることのできた者は皆、

エズ・ラ 13: 23

その時に危険をもたらす方こそ、危険に陥る人々を守り、彼らは全能者のために働き、信仰を保つ者となるだろう。

新共同訳旧約聖書は、プロテスタン側が、モーセ五書、預言書を、カトリック側が、歴史書、詩歌書を翻訳し、最後に、訳語の統一を共同作業で行ったと言われていました。今回調べてきた、「信仰」ということばが、詩編に5箇所利用された理由は、カトリックの翻訳(フランシスコ会訳)の影響であると言えるでしょう。

今回は、ハバクク 2章4節の伝統的に「信仰」と訳されてきたテキストの周辺を調べてきました。最後に、この箇所の「信仰」は、「信頼」と翻訳することが出来るとする見方を紹介しておきます。

以下は、「聖書の達人」の「聖書注解」のハバクク書2:4の解説の引用です。便宜のため、下線を施しました。これで、今回の長かった散歩をひとまず終わりいたします。

(2) 2章4節

「見よ、彼はうぬぼれていて素直でない

しかし、正しい者は彼の(わたしへの)『信頼』によって生きる」(私訳)

心のまっすぐでない者は心高ぶる という訳出は、ヘブル語本文からは不可能である。本文を修正(すでに24通り以上の提案がなされている)しないで直訳すれば、「彼の心は彼の内で膨らんでいて真すぐではない」となる。「彼」とは、前後の文脈からすれば、カルデア人または彼によって代表される「悪者」のことである。悪者の「うぬぼれていて素直でない」姿は、1:11の「自分の力が自分の神」であるカルデア人の姿と、2:5の「高ぶる者」のそれに通じる

「しかし」は、前半節との強い対比を意味する(参照20節, 3:18)。しかし、「悪者」と「正しい者」の対比が、1:4や1:13におけるように、直接これら2つの語を用いることによって行われているのではなく、「悪者」の「うぬぼれていて素直でない」姿との対比において、「正しい者」がどのような人であるかが神の視点から、義なる神との関係において、説明されている

その信仰によって、ヘ エムナー(「真実・誠実」)が「信仰」と訳されるのはここだけである。神の発話としての本節は、神の視点から見た「正しい者」が「その人の神に対する真実さ(または信頼)」によって特徴付けられるということを示している。1:4, 13でハバククが用いたヘ ツァディーク(正しい者)が、ここでは、神の側からの意味付けを与えられて改めて用いられている。これは創15:6の「彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた」こととかがわっている。従って、本節での「正しい者」は、「神に従う人」(新共同訳)というよりは、むしろ神によって「正しい」と判断された者のことを意味している

<散歩道後記>

新改訳聖書が翻訳された時代(1970-80年代)、ダイナミック・イクウィヴァレンス(DE)、ファンクショナル・イクウィヴァレンス(FE)、パラフレーズ(意訳)のどれを、「聖書文盲」な日本文化に聖書翻訳に適應すべきかの論議が盛んに行われた。その翻訳からおよそ30年後、2004年に『新改訳改訂』第三版が、新翻訳理論(「トランスペアレント(透

けて見える)訳、原文の形や言い回しを残した訳、時にはとっさに意味をつかめないような、ぎごちない訳文があってもしかたがない、聖書は、ひとりで読むのではなく、その解き明かしのできる人々と共に読むべき書である、との考えのもとに登場した(参考:『聖書翻訳を考える-新改訳聖書第三版の出版に際して』、いのちのことば社、2004年.)。今回、検討した「信仰」を、キリスト教「信仰」誕生以前の旧約聖書に、利用することの是非を、FE(聖書の使信に異なる民族、文化、時代の言語に移す時に、先方すなわち、目標言語において理解可能な、等価の事物や概念に置き換えるという方法)のしてから見るとどうのようになるのであろうか。「伝道」ということばは、現代の日本では、キリスト教を布教する意味で利用されている。同じように、「信仰」も、もちろん、山岳「信仰」、科学「信仰」と利用されることはあるが、現代では、キリスト教「信仰」との意味合いで広がっている。とするならば、「信仰」を訳語に利用する妥当性は、否定できないであろう。

最新の聖書翻訳の働きの岩波訳「詩編」(1998年)には、巻末に、「忠実な者」と「信実な者」の訳語解説がある。以下、詩編12:2の翻訳比較である。

[新共同訳]

主よ、お救いください。

主の慈しみに生きる人は絶え

人の子らの中から

信仰のある人は消え去りました。

[岩波訳]

お救い下さい、ヤハウエ。忠実な者が絶えたのです。

信実な者たちがひとの子らから失せたのです。

岩波訳「詩編」の翻訳者は、「信仰」に等価する「信実」を利用することを提唱しているようである。岩波訳「小預言書」の訳者は、この「忠実な者」「信実な者」を利用せず、伝統的な「義しい者は、その信仰によって生きる」と訳している。岩波『旧約聖書』の責任編集者の月本昭男氏から2003年6月に、著書『詩編の思想と信仰』(新教出版、2003年5月)を頂いた。この本のコピーは、「詳細な語釈、各詩編の構造と成り立ちの分析、そして周辺世界の宗教思想への広い目配りによって、ヤハウエ信仰の詩に迫る。」である。この本の詩篇12::2の翻訳を最後に紹介し、「信仰」ということばの藪からひとまず解放されようと思う。

お救い下さい。ヤハウエ。

じつに、信義の人は絶え、

じつに、真実な者たちは

ひとの子らから失せました。